

全学連は労働者・労働組合との連携を強く形成してきました。それは動労総連合(ＪＲで働く労働者などで構成されている労働組合)を先頭とする闘う労働組合の潮流が、連合・全労連などの既成の労働運動の「労使協調」路線を食い破り、職場の労働条件をめぐる問題から戦争・原発といった社会全体の問題まで変革する力と展望を現実的に持って闘っているからに他なりません。

右写真：ＪＲが安倍政権と一体で、被災地・福島への帰還を強制するために常磐線開通を狙うことに対し、ストライキで抗議する動労水戸の仲間。実際に福島切り捨て＝原発再稼働を阻む力となっている。



その最大の成果は国境を越えた連帯の形成です。中国や朝鮮半島をめぐる戦争の危機が叫ばれる中、今年６月、日韓の労働組合が“それぞれの国で労働者の生存を脅かす自国政府と闘おう”という共同宣言を発し、それに中国の労働者が強い支持を寄せるという感動的事態が起きています。

その韓国では、パククネ政権打倒を掲げる数十万人規模のゼネラル＝ストライキが今年に入って何度も打ち抜かれています(下写真)。日本で韓国のような闘いができれば、必ず安倍政権を倒し戦争を止めることができます。



すべての学生は 仲間を求めて全学連大会へ!

労働者と共に立ち上がろう! ストライキは国境を越えた連帯をつくる

議会に安倍を止める力はない! 大学からストライキを!



7月15日、安保関連法の衆院特別委採決に対して怒りを爆発させる国会前抗議行動

全学連第76回定期全国大会

と き：9月2日(水)～3日(木)

※2日の午前9時半開会

ところ：東京・浜町区民館

(東京都中央区日本橋浜町3-37-1)

参加費：1000円(2日間を通して)

▼3日の議事終了後、霞ヶ関へ移動。

16:00より国会・霞ヶ関デモを行います。

私たちは今年の全学連大会を、“戦争に突き進む安倍政権に学生がいかに立ち向かうべきか”を最大のテーマとして、全国学生が議論と交流を深める重要な機会にしたいと考えています。このリーフでは、全学連の活動をみなさんに知ってもらおうべく、簡単に紹介します。

全学連

(全日本学生自治会総連合・斎藤郁真委員長)

【電話】03-3651-4861 【メール】mail_cn001@zengakuren.jp 【HP】<http://www.zengakuren.jp/>

学生の団結を

大学の中から甦らせてきた全学連



京都大では昨年11月、大学内に潜り込み学生の反戦運動を監視していた公安警察を全学自治会同学会の仲間が摘発・追放しました(上写真:ニュース報道より)。この歴史的イベントは学生が団結すれば国家権力をも凌ぐ力を持っていることを示しました。戦争を止める展望もまたここにあります。

こうした学生の団結を、私たち全学連は学生自治会を再建することで実現してきました。学生自治会とは、敗戦直後に“大学の戦争責任追及”と“学生生活の防衛”を掲げて全国で結成されたもので、学生が団結するための運動体です。これを全学連は法政大や東北大では歴史的に守り継承し、京都大、沖縄大、広島大でこの3年ほどで次々と再建してきました。さらに富山大、福島大、首都圏諸大学へとうねりは波及しています。学生は団結を甦らせ、自らが持つ社会変革の力を復権させよう！全学連大会に集まろう！



不当弾圧を狙う公安警察を 大学から叩きだした京都大生

防衛省、大学向け研究費 公募開始 軍事応用も視野

国の安全保障に役立つ技術を開発するとして、防衛省は大学などの研究者を対象に研究費の支給先の公募を開始した。研究者に直接お金を出すのは初めてで、最大で1件あたり年3千万円と一般の研究費に比べて高額の公募が可能だ。軍事応用が可能な研究分野の広がりが背景にある。8月12日に締め切った公募で、10件程度を選定し、成果は「将来設備に向けた研究開発」で活用するとして、実用化の場として「我が国の防衛」に貢献する。国費平和協力活動「国費平和協力活動」を奨励した。支給額は文部科学省の科学研究費補助金の1件あたり100万円程度と見られる。

新基地建設に反対する中で 大学の状況を変えた沖縄大生

安倍政権は国会で安保関連法制定を狙うと同時に、「戦争のできる国づくり」を全社会的に進めています。大学はその最大の焦点の一つであり、「大学改革」の名の下に「軍事研究」や「経済的徴兵制」の導入が始まっており、「授業—就活—奨学金」が私たち学生の未来を奪っています。

「大学改革」をめぐる攻防の象徴である法政大では、06年以降、大学当局が戦争や原発に反対する学生の活動を弾圧するために、学内規制を強化し不当な処分・逮捕を繰り返してきました。しかし、学生は「大学の主人公は学生だ」「一人の仲間も見捨てない」と、仲間を拡大しながら不屈に闘い続けています(右下写真)。

他方で多くの大学では政治や社会に関わる機会すら奪われています。それは新基地建設への怒りに燃える沖縄でも同様でしたが、昨年の春以降、全学連と出会った仲間が学内で声を上げ始めました。法政大と同様に沖縄大当局は様々な妨害を行ってきましたが、多くの沖縄大生が全学連のもとに集まり、ついに今年5月には学内でデモをやれるまでに大学の状況を塗り替えることに成功しています(下写真)。



大学の主人公は学生だ！ 処分・逮捕に打ち勝ってきた法政大生